



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2023年
(令和5年) 1月号
NO. 185

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-8
ベネックスS-3 4階
TEL: 045-577-4212 / FAX: 045-577-4213
MAIL: info@suishinkyo.net

- 新年挨拶 役員 < 2面 >
- 第3回 理事会 < 4面 >
- 実地研修 進捗状況 < 4面 >
- 新年挨拶 支部長 < 3面 >
- ズバリ回答！人事・労務のお悩み < 4面 >
- 訃報 < 4面 >
- 介護ニュース・ダイジェスト < 4面 >
- タイ王国介護人材交流大使に任命 < 4面 >
- 事務局から < 4面 >

新年のご挨拶 会長 赤枝真紀子 兼愛会 理事長

新年おめでとうございます。会員の皆様には日頃より多くのお力添えを賜うございませう。り心より御礼申し上げます。さて今年、介護報酬と診療報酬の同時改定が6年ぶりに行われる重要な年です。ここ数年、人材不足に拍車がかかる一方で電気料



金をはじめとする物価高と、個室ユニット型施設を取り巻く環境は日々厳しさを増しているようにも感じられます。人としての尊厳が守られた中で、穏やかに暮らせる個室ユニット型施設は、サラリーマンO Bの利用増大が見込まれるこれから真に必要な施設です。私は、こうした高齢者のために

新春特別対談 介護激動時代 共生を支えるユニットケアの役割とは

神奈川県 黒岩知事 「介護施設を拠点にした地域づくり」
推進協 赤枝会長 「新しく楽しい試みで人財を生かす」



今年、次は介護保険制度改正、介護報酬改定に向けた正念場だ。誰もが自分らしく暮らせる地域共生社会の実現にユニットケアが果たす役割について、介護保険部会委員も務める神奈川県の黒岩祐治知事と全国個室ユニット型施設推進協議会の赤枝真紀子会長が語り合った。

赤枝 黒岩知事には日頃から何かとお世話になっております。特に昨年は前会長を偲ぶ会にもご参列いただきました。改めて感謝申し上げます。さて、本日は新年に当たり、今後の抱負や未来の話を伺いたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

黒岩 こちらこそ、よろしくお願ひします。

赤枝 それではまず、神奈川県の高齢化について伺います。先頃、厚生労働省が発表した資料によると、2040年までに85歳以上の人口が30万人を超えるとされ、東京都を抜いて全国最多となる勢いです。その対策も着実に進められ

ていると感じておりますが、今後の高齢化をどのように見ていらっしゃいますか。

黒岩 本県の高齢者人口は2015年では4人(4・18人)に1人でしたが、団塊ジュニア世代が高齢者となる40年には、3人(2・97人)に1人に達することが見込まれています。本県は、高度経済成長期に生産年齢人口の転入超過が続いたことから、全国屈指のスピードで高齢化が進展しており、とりわけ、85歳以上の増加傾向は著しいものと認識しています。人生100歳時代を迎え、未病改善の取り組みとともにコミュニティの再生・活性化に関する取り組みを進めて、高齢者がいくつになっても元気で生き生きとくらす、いのち輝く社会をつくっていききたいと考えています。

赤枝 その対策の一つに介護施設の整備があるのかと思います。当協議会は個室ユニット型施設を会員としておりますが、個室ユニット型施設は、入居者一人ひとりの生活リズムに合わせた介護をしています。つまり施設が決めた日課はありません。この点が病院や病院をモデルとした従来型施設とは決定的に違う部分です。自分のペースで朝起きて食事を摂る、これを支援するのがユニットケアです。

神奈川県第8期介護保険事業計画によると、介護保険施設は23年度、1500床程度の増加が見込まれています。このうち個室ユニット型はどの程度でしょうか。

黒岩 県では、在宅に近い生活環境が重要と考えていることから、特別養護老人ホームの新設にあたっては、個室ユニット型とするよう事業者に指導しています。特別養護老人ホームの開設許可について、政令市と中核市は県と同等の権限がありますが、これらの市も、基本的に県と同様の考え方に立っています。このことから、23年度の県内の特別養護老人ホームの整備は、県内すべてでユニット型で進んでいると承知しています。

赤枝 今後、個室ユニット型施設は地域包括ケアの中核を担いたいと考えています。例えば、知事が進めておられる未病対策には「食・運動・社会参加」の三つの柱が示されていますが、いずれもフレイルに通じており、介護施設が地域に向けて普及できるものです。これらに介護施設が取り組めるような支援やフォーラムなど開催していただければ、厚労省が進める地域支援事業とは一味違って興味深いと思います。いかがでしょうか。

黒岩 介護施設では入所者に対して、コグニサイズやオーラルフレイルをはじめとした健康講座やフォーラムなど、施設の特徴に応じたさまざまな取り組みを行っています。近隣の幼稚園や小学校児童との交流や、入所者による美術作品展示、夏祭りなどの交流も多くの施設で行われています。こうした未病改善の取り組みが一つの施設にとどまらず、より広く地域で展開されることは、入所者の健康づくりや生きがいづくりを超えて、地域づくりにつながります。県も、地域での介護施設を拠点とした取り組みの発信を支援していきたいと考えています。

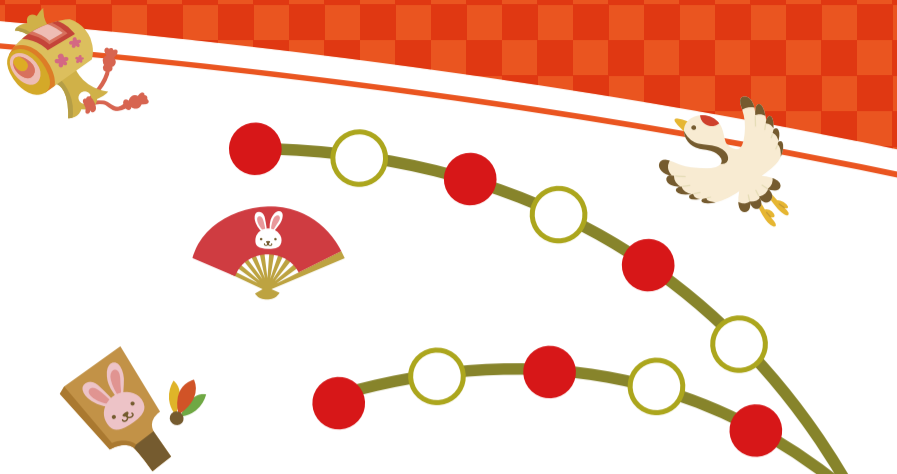
赤枝 そうした介護施設の新しい

もユニットケアを広く社会に浸透させたいと考えております。また、今年から5年計画で、非会員の個室ユニット型施設にも呼び掛け全国で研修会を開催いたします。逆境を少しでも跳ね返し、併せて会員の獲得やユニットケアの普及に努めてまいりますので、会員の皆様には変わらぬご支援ご協力をいただけますよう本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

この記事は赤枝会長の書面による質問に対し、黒岩知事から回答をいただいてまとめた紙上対談の形式で構成しています。

くわいわ・ゆんじ
1954年、神戸市出身。80年、フジテレビ入社。ニュースキャスターなどとして活躍し、2009年に退職。11年、神奈川県知事選に立候補し、初当選。19年、投票総数の4分の3を超える支持を集め、3選を果たす。全国知事社会保障常任委員会委員、社会保障審議会介護保険部会委員

謹賀新年



副会長 高木邦格
(国際医療福祉大学 理事長)

明けましておめでとうございます。昨年より新型コロナウイルスの波が3回も押し寄せてきました。治療薬やワクチン接種が進むなど、コロナへの対応も新たな段階に入ってきましたが、高齢の方々をお預かりになっている皆様の施設におかれましては、まだまだ予断を許さない状況であるものと拝察いたします。コロナ禍に加え、深刻化を増す介護人材不足、エネルギーや食料等の非常な高騰など、厳しい環境は続きます。会の運営への十分な貢献ができず恐縮ではございますが、この局面を乗り越えるべく、ユニット推進協議会における各種施策、介護保険制度への提言等が実りあるものとなるよう力を尽くしてまいりますので、一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。卯年にあやかり、新しい年が大きく飛躍するともに、皆様のご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



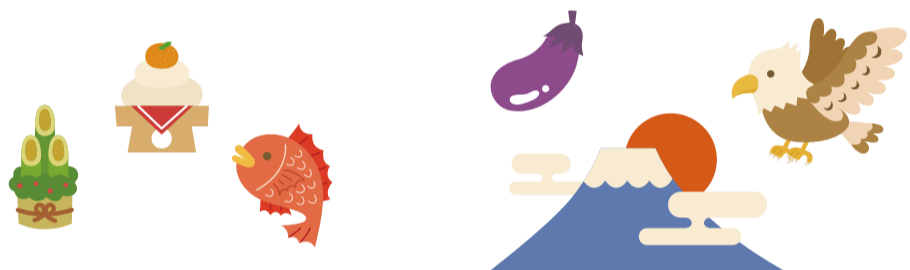
副会長 安江紀子
(幸紀会 理事長)

明けましておめでとうございます。昨年よりのコロナ禍で、一喜一憂の一年でございました。幸いにして、大きな感染もなく、無事新しい年を迎えさせていただくことが出来ました。これは、職員の感染対策も大いに効を奏していることと感謝し、今後もより一層努力していかなければと意を新たにいたして居ります。また、新しいユニットケアのあり方が問われる昨今、本年は推進協でも介護福祉士養成のため、新たな研修事業が開始されますが、介護職員の質の向上を願って、研修施設としても研鑽に努めて参りたいと存じます。赤枝会長のもと、大きく事業展開も行われ、ますます質の高い介護をめざす推進協として飛躍し発展して参ります一年でありますよう願って、ごあいさつにかえさせていただきます。



副会長 田伏清
(バルツア事業会 理事長)

謹賀新年 おめでとうございます。昨年も見事に明るい話題に乏しい一年でした。昨今は、スポーツのみが国民を沸かす唯一のツールとなりつつあります。それ自体はとても素晴らしい事でありまして、ほんとうに「ワクワク」「ハラハラ」「ドキドキ」させていただき、個人的には嬉しい限りであります。新しい年を向え、施設で暮らしている皆様へ敬意を込めて、今のこの世界に流れる大きな変化が直撃することの無き様に、私共全国個室ユニット型推進協議会も国や各方面の皆様方との連携を計っていくことが、とても大切な1年になると思っております。皆様のお知恵をお借りし、赤枝会長の元、推進協議会の役割を担って行ければと存じます。本年も何卒ご協力賜ります様、お願い申し上げます。



副会長 稲庭千弥子
(友遊会 理事長)

新春のお慶びを申し上げます。コロナ禍も丸3年経過しました。各会員の皆様も、大変な思いの中で施設運営として経営していることと思います。その中で「ユニットケアは感染拡大を防いでいる」という調査結果は、私も全国個室ユニット型施設推進協にとって心強い結果でありました。また、同じようにコロナ禍では人材確保と研修も難儀しております。実習・研修が受けにくい、外国人材が日本に入りづらい環境ですが、これも少しずつ緩和されて来ています。その中で、推進協がこの3年間で取り組んできた「介護大学校」は外国人にも日本人にも資格取得に向けた事業として誇れるものです。神奈川県川島の許可を得て、分校も少しずつ増えています。赤枝眞紀子会長のもと、令和5年度も皆様にはどうぞ宜しくお願い申し上げます。



介護保険委員長 藤村二郎
(久住会 理事長)

明けましておめでとうございます。昨年1年間はコロナ感染に加え、急激な為替変動や大幅な物価高騰と施設を取り巻く環境は激変しております。次期報酬改定はトリプル改定により多種多様な議論が激化すると思われまます。介護報酬については質の向上の議論が当然論点となるでしょうが、現在の経営環境下において基本的なサービスが継続できるかとの不安に対し注視しなければいけません。質の評価は基本サービスの上に重ねていくことであり、そもそも基本サービスが提供できる状況にしていかなければなりません。今日の物価高騰や最低賃金に見直し、社会保険適用事業所の拡大はすべて基本報酬と連動されるべきことであると考えています。



総務企画広報委員長 佐々木亀一郎
(元氣村 常任理事)

明けましておめでとうございます。昨年は続くコロナ対応に追われた一年の中、施設運営に大変な状況であったことと思います。その中でも当委員会及び個室ユニット型推進政治連盟の活動にご理解ご協力をいただきましたこと心より御礼申し上げます。業界では、なかなか明るい話題を聞くことが少なくなりましたが、こんな時こそ先人の皆様は英知と行動力で乗り切って幸福をつかんで時を進めてきたものと想います。取り巻く施設運営の環境は刻々と変化を肌で感じる一年が過ぎ、本年は「Withコロナ」を迎えるであろう、新しい年が皆様方にとって、明るい光の兆しを感じるものと確信いたしております。本年も明るい未来と次世代の仲間たちのために、推進協の会員の皆様とともに、約一年後の医療・介護の報酬改定に、そして将来に向けて、微力ながら全力で努力する所存でありますので更なるご指導賜りますようお願い申し上げます。



研修委員長 栗田淳二
(南風会 理事長)

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染予防をはじめとし、その他施設運営に影響のある事象は継続しています。施設内の業務対応も従来とは異なる対応と対策をとりつつも、現場内では感染クラスターの危機感をつらせ、介護の質を低下させないように懸命な努力をされてきたことと思います。そんな中においても、職員が知識を習得し、質の高い介護サービスの提供する必要があるにもかかわらず、継続して研修等により知識の習得を行い、現場介護サービスに展開できるように体系化、効率化を図っていくことは今後必要不可欠です。研修委員会では、引き続き会員の皆様これらを踏まえた、研修等の機会を検討してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2023年

(敬称略、順不同)

北海道支部長 今 千尋
(函館大庚会 理事長)

昨年はそのぞれの施設がコロナとの共存に並大抵ではない苦労をしたと思います。これを経験知とし、感染症流行時や災害時にもケアを継続できる福祉サービスであると胸を張っていききたいものです。今年も推進協一丸となってお互い学び合い支え合ひましょう。

の向上と介護DXを導入しやすい環境づくりが重要です。理事の先生方とともに、しっかりと働きかけをしていきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。

神奈川支部長 北村明美
(ユーアイ二十一 横須賀エリア統括管理者)

感染症の拡大により、今までとは違う福祉の世界が広がりました。個室ユニット型の施設の良さを皆様知っていただく良い機会となり、逆境を乗り越えたその先の新しい景色を、明るいものにしていくために、皆様とともに、取り組んで参りたいと思ひます。

宮城支部長 阿部仁美
(巻ノ町 施設長)

昨年後半は、コロナ感染対応に追われる毎日でした。そのため、計画していた研修等の実施や参加が難しい状況が続きましたが、今年、社会福祉法人の連携と、ユニットケア推進に、改めて取り組みたいと思ひます。

新潟支部長 田中政春
(長岡三古老人福祉会 名誉理事長)

コロナ禍で支部活動が制限され、活動方法の見直しが必要になってきました。また、感染症対策、人材不足や物価高騰などの直面する課題に対応し、サービスの質向上を図れるよう、会員施設と情報交換をしながら取り組んでいきたいと思ひます。
※この文章は12月2日に逝去された前に「寄稿いただいたものです。

千葉支部長 和田 等
(千の風・清澄 施設長)

昨年4月より千葉県支部長を拝命致しました。超高齢化社会に求められる看取りなどの高い専門性を要するニーズへの対応とユニットケアが目指す一人ひとりが望む生活をクリエイティブすることに取り組んでまいります。推進協の今後の発展に尽力しますので、宜しくお願ひ致します。

福井支部長 山本高之
(一乗谷友愛会 理事長)

コロナ禍の中で、コロナの感染対策の継続と人材確保が益々厳しさを増しています。多様な外国人雇用の促進、ICT活用による生産性、効率化の向上を目標に、今年一年ユニットケアの醸成に注力して行きたいと思ひます。

東京都支部長 安藤高夫
(永生会 理事長)

来年はいよいよ診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年になります。個室ユニットケアの質を維持していくためにも、経営の質

長野支部長 吉川 翼
(グレイスフル箕輪 施設長)

新型コロナウイルス感染症の対応が長期化しており、同時に人材不足への対応も求められています。感染症対策、働きやすい職場づくり、いずれもユニット型施設であることの強みを活かすことができるものと考えております。魅力あるサービス・職場づくり今年も取り組んでまいります。

なっています。その高騰分を価格転嫁できない私たちは、制度改正を控えた今、これまで以上の活動が求められると考へますので、皆様と手を携えて取り組んで参ります。

和歌山支部長 永山間夕美
(縁風苑 施設長)

コロナ禍の影響や介護人材不足等問題は山積みですが、利用者様が良好に暮らせるように、こんな時だからこそ「おもてなし」の心を忘れず、形にして伝えられるよう日々努めて参ります。

岐阜支部長 松岡充子
(ハートステージ 施設長)

去年はコロナ禍で職員に負担をかけたことが、その結果ユニットケアの一番良い所が発揮できませんでした。一丸となって取り組む姿勢と連携ができるようになり、気づきも増えました。今後もご入居者様、ご家族様に満足いただけるように努めてまいります。本年も宜しくお願ひいたします。

鳥取支部長 田中 彰
(賛幸会 理事長)

本年もコロナに翻弄されることとが予想されます。ユニット型個室ではコロナの嵐の中でも従来型特養に比してその安全性が証明されました。引き続き皆で頑張つてご利用者様の安全を守っていきましょう。また介護保険に対する厳しい利用制限(自己負担額の増額、要介護1、2の介護保険からの除外など)が噂されていますが、皆の力を合わせて高齢者の生活を守りましょう。個室ユニット型特養は高齢者の生活を守る砦です。

静岡支部長 貫名 徹
(ケアハウス慈恩 施設長)

令和3年に県支部長を拝命致しました。コロナ禍での支部活動は推進協、県連絡会の皆様にご協力を頂き、総会、研修会、施設見学会等、webで開催し継続してきました。新年も支部活動が会員の皆様のサードプレイス的な場所になるよう尽力して参ります。

島根支部長 杉原 建
(昌林会 理事長)

国際情勢の変化、急激な円安や物価の上昇、コロナ禍等、私たちの生活に様々な影響が出ています。施設を取り巻く社会環境が大きく変化する中でもユニットケアの強みを活かし、利用者様一人一人が安心して快適に過ごせるよう、取り組んで参りたいと思ひます。

愛知支部長 若月剛治
(あさひが丘 施設長)

現在はロシアのウクライナ侵攻等の影響により食料費をはじめとした様々な物価やエネルギー価格の高騰を招く事態と

山口支部長 江澤和彦
(博愛会 理事長)

今年こそは、新型コロナウイルス感染症が終息することを心より願っております。そして、我が国の社会保障制度の再スタートとも言える2025年が目前に迫つて参りました。この1年の議論は極めて重要であり、国民のために皆様共々頑張つて参る所存でございます。

だったと思ひます。今年、人材確保や採算性など、従来からの重要な課題解決のため努力を傾注する年だと思ひます。

徳島支部長 武久洋三
(平成記念会 理事長)

私達は普段、個室で生活しています。しかし、入院すると4人部屋がほとんどです。認知症状のある方や高齢患者さんの夜間排尿、重症者の病状などにより頻回な処置がある患者さんと同じで、十分な休息と安眠が取れないところで療養しています。病院もそして特養も全て個室にするべきです。ユニットケアが療養環境として最低限の基準ではないのでしょうか。

佐賀支部長 藤崎和子
(シルバーケア吉野ヶ里 施設長)

11月からコロナ感染拡大に伴いリーダー研修ができない状況が続いていましたが、新年から再開できることを願っています。研修は職員のモチベーションアップにも繋がりますし、外国人職員が頑張つて2人がリーダーにもなり、外国人だけのユニットにもチャレンジしました。令和5年は施設のブランディングを強化していきたいと思ひます。

高知支部長 内田泰史
(るるるん 理事長)

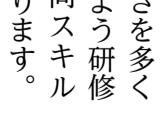
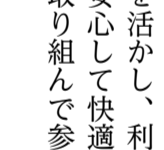
個室ユニットによる生活環境の良さが見直されてきています。感染症対策の基本は、体力、気力、免疫力の向上により病気に負けないことだと思ひます。生きがいを持ち、その人らしい生活が送れるように力を尽くしていきたいと思ひます。

長崎支部長 上田かな
(樹陽会 理事長)

昨年は引き続きコロナの影響を受け、制限がありながらも入居者様のQOLを考えたり、行事やケアを行ったりと「工夫」の1年でした。また、ユニットリーダー実地研修の受け入れが再開されました。受入施設と研修受講者が一緒になって「ユニットケア」について学び、考え、推進していきけるよう努めていきます。

鹿児島支部長 川島葉留美
(愛人会 副理事長)

初日に煌めく錦江湾、天に向かって噴煙を吹き上げる桜島。新たな年が始まります。慈愛の理念を基に入居者様・地域・職員との連携を高め、社会性のある施設を目指して参りました。ユニットケアの素晴らしさを多くの方に理解して頂けるよう研修施設としても職員一同スキルアップに日々努めて参ります。



介護二コース・ダイジェスト

11月25日
12月15日

■介護保険部会 利用者2割負担の検討を改めて促す (11月28日)

22年10月に導入された後期高齢者医療制度の患者負担2割の判断基準が所得上位30%とされていることも踏まえ、介護保険でも2割負担の対象者拡大を検討。

■厚労省 多床室の利用者負担導入をさらに検討 (11月28日)

介護老人保健施設や介護医療院が対象。介護保険部会で論点化。

■介護保険部会 24年度制度改正への意見案を示す (12月5日)

訪問と通所を組み合わせる複合型サービスの設置を促す。定期巡回・随時対応型訪問介護看護と夜間対応型訪問介護の統合整理及び看護小規模多機能型居宅介護の拡充策の必要性も。

■厚労省 介護助手の導入促進、人材確保を目指す (12月5日)

介護現場の負担軽減と生産性向上のため、介護職員が行うべき業務の切り分けを進める観点から、介護助手を活用する。

■介護サービス事業者 1人当たり賃金も公表の対象 (12月5日)

介護サービス情報公表制度において、すでに職種別の従事者数や経験年数が公表されていることなどを踏まえた措置。

■厚労省 個室ユニット型施設の整備を推進する方針 (12月5日)

介護保険部会が同日公表した意見案で、個室ユニットがプライバシーの確保や尊厳の保持に加え、感染症拡大防止の観点からも役割を果たしたとして、人材確保や費用面の課題を整理しつつ、その推進の検討が重要だとした。

■介護保険部会 「給付と負担」の議論は保留 (12月5日)

24年度制度改正に向け、反対の声が上がる利用者2割負担の拡大や要介護1・2の総合事業移行など「給付と負担」に関する内容は、同日の会議に付された意見案に盛り込まれず、保留とされた。

■(株)推進協 第3期分校募集説明会開催 (12月7日)

介護大学の分校は、現在15校が確定しているが、この追加をはかるための募集。来年1月にも開催し、3月の申請を目指す。

■政府 介護職員の働く環境の改善を早急に検討 (12月7日)

全世代型社会保障構築会議に提出された論点整理の中で、来年に早急に検討を進めるべき項目として「介護職員の働く環境の改善」が工程に上げられた。環境改善には「生産性向上に向けた処遇改善加算の見直し」も含まれる。

■介護従事者らの労働組合が厚労省に処遇改善を要請 (12月9日)

U Aゼンセン日本介護クラフトユニオンが物価上昇などで苦しむ介護事業所のための臨時の介護報酬改定と介護従事者の処遇改善策の拡充を求める要請書を提出。

■厚労省 L I F E情報を11月めどに公開する方針 (12月12日)

介護保険総合DBのオープンデータとして「L I F E」(科学的介護情報システム)に基づくA D L、栄養、口腔衛生、認知機能など、科学的介護推進体制加算に関連する主要項目を公表する。介護保険部会の専門委員会でも示した。

■厚労省 介護従事者処遇状況等調査を開始 (12月12日)

介護サービス施設・事業所を対象に実施。新設された介護職員処遇改善支援補助金、介護職員等ベースアップ等支援加算による効果を把握するとともに、今後の処遇改善や介護報酬改定の検討に向けた基礎資料とする。ネット経由での回答期限は1月31日。

■推進協 佐々木理事、タイ王国介護学校協会より大使に任命 (12月13日)

当会理事佐々木亀一郎氏(社会福祉法人元氣村グループ常務理事)が「タイ王国介護人材交流大使」に任命された。

当面の行動計画の方向性を承認

推進協 第3回理事会

推進協は2022年度第3回理事会を22年12月21日、オンライン方式で開催した。赤枝眞紀子会長と理事14人が出席、「会員施設増五か年計画(Mプラン)」実行への方向性などを盛り込んだ第1号議案立案の行動計画についてを可決した。

冒頭あいさつで赤枝会長は、介護保険部会が12月20日に公表した「介護保険制度見直しに関する意見」で、特養の特例入所について運用の改善を図る方針にとどまることが残念だと述べた。また24年度の介護報酬改定に関して「基本報酬の引き上げがどうしても必要。これをどう勝ち取るかが最大の課題」と述べ、取り組みを一層増していく必要性を強調した。

第1号議案は23年1月～25年8月の行動計画策定のため、大筋の方向性を示す内容。具体的には、①介護報酬改定を勝ち取るため経営実態調査の独自集計を行い、厚労省との対話を促進する②Mプラン実行のため、23年5月から都道府県車座対話を開始する。併せて介護大学の分校募集など会員メリット策を多数用意する③25年8月に開催する推進協創立20周年記念式典に向けた検討チームを設置し、ユニットケアの歴史を踏まえ、た記念誌の発行を検討する④など3点が盛り込まれた。議案は賛成多数で可決、了承され、より具体性を持たせた実行計画が、支部長会、介護保険、総務企画広報、研修の各委員会との合同会議を経て、今年3月の次回理事会に諮られる。審議の中では、赤枝会長からの意向が表明された。

理事会に引き続き行われた理事懇談会では介護保険部会委員でもある江澤和彦理事(日本医師会常任理事)が制度見直しのアウトラインを説明した。

ズバリ回答! 人事・労務のお悩みハローワーク活用で人材確保を!

【今月の相談内容】

ハローワークの求人、ほぼ応募がなく年に1人程度。求人広告に至っては、ほぼ0です。技能実習生や紹介会社などを利用して人材を確保していますが、人件費の支出面で困難な状態です。なにか良い方法はないでしょうか。

【回答】

現在、同様のご相談は多く、ほぼ策が無いです。今一度、処遇も含め応募から採用に至る過程を確認し、見直すことなどをお勧めしています。特に無料で利用できる求人サイト「ハローワークのインターネットサービス」を利用しない手は無いでしょう。インターネットサービスを活用し、3カ月で介護福祉士を4名採用したという話を聞いたことがあります。

以下の要領で募集してみてもいいでしょうか。

- ①まずは、ハローワークインターネットサービスに登録をしましょう。いまだに手書きでハローワークに行ったり来たりはロスです。
 - ②必須項目、特に任意項目を空欄にせず、記載します。
 - ③求人情報は他の媒体にも公開しましょう。
 - ④仕事の内容や職種は、単に「介護職」「介護業務」などと簡条書きにせず、丁寧に記載しましょう。
 - ⑤ハローワークの紹介状は不要としてみましょう。せっかくインターネットで見ているのに、ハローワークに行ってもらうようことは避けましょう。
 - ⑥職場風景の写真や、仕事の流れの図解などをアップすると良いでしょう。
- なお、有料にはなりますが、私の方で求人票の診断することも可能です。ご相談いただければ対応いたします。



推進協理事・特定社会保険労務士 栗田淳二

推進協理事 佐々木亀一郎氏 タイ王国介護人材交流大使に任命

12月13日、タイ王国介護学校協会から当会理事の佐々木亀一郎氏(元氣村グループ・常務理事)に対し、「タイ王国介護人材交流大使」の任命状が授与されました。

今後、佐々木氏はアンパサダーとして、タイ王国介護学校協会が育成した介護人材の受け入れを推進し、タイと日本の介護人材の懸け橋を務めることとなります。任命状の授与後、佐々木氏は、「介護の現場で勉強できる機会を作り、介護に携わる人が幸せになるよう努めたい」と抱負を語りました。



(左から)佐々木理事、学校協会会長ドアンシリスパーワティ博士、学校協会副会長チュアデーブサラー博士

実地研修 進捗状況

7月から再開したユニットリーダー研修実地研修の進捗状況についてお知らせします。

これまでに2022年6月上旬、7月上旬、9月上旬、11月下旬の4回にわたり、受講年度の前の方から各実習施設の受け入れ数に応じて、段階的に案内をしてまいりました。

【2023年1月～3月 受け入れを予定している実地研修施設】

- ※コロナの影響で中止になる場合があります。
 - ▶埼玉県 ここのすたんぽぽ翔裕園 ▶千葉県 明尽苑・地域密着明尽苑 ▶神奈川県 ニューパード、しょうじゅの里三保 ▶静岡県 第二長上苑 ▶岐阜県 燦燦、岐南仙寿うれし野、仙寿なごみ野 ▶愛知県 せんねん村矢曾根、瑞光の里緑ヶ丘 ▶大阪府 ゆうり ▶福岡県 天空の杜、梅光園 ▶佐賀県 玄海園、シルバークエア吉野ヶ里、グランパランいまり ▶長崎県 のぞみの杜、プレジールの丘 ▶大分県 いずみの園 ▶鹿児島県 慈眼寺園
- 11月末時点での実地研修修了者および予定者数は以下のとおりです。

実習月	実習生(名)
7月	52
8月	44
9月	44
10月	120
11月	126
12月	68
合計	454

※コロナの影響で予定者数は変動します。

【待機者が解消している都道府県】

岐阜県、佐賀県、鹿児島県

※上記3県の実地研修施設で実習を希望される方は事務局までご連絡ください。(☎045-577-4212)

訃報のお知らせ

田中政春理事・新潟県支部長(長岡三古老人福祉会 名誉理事長)

令和4年12月2日午後10時7分、享年86歳にて永眠されました。

葬儀(告別式)は、12月7日に執り行われました。

故人のご冥福を心よりお祈りし、謹んでお知らせいたします。

事務局から

佐々木理事の大使任命式を取材した際、タイ王国学校協会会長が「日本の介護は丁寧できめ細かい」と日本の介護施設を見学した感想を述べていました。事務局も当会に関わるすべての方々に、丁寧できめ細かい、対応やサポートを心がけたいと改めて感じました。(山)